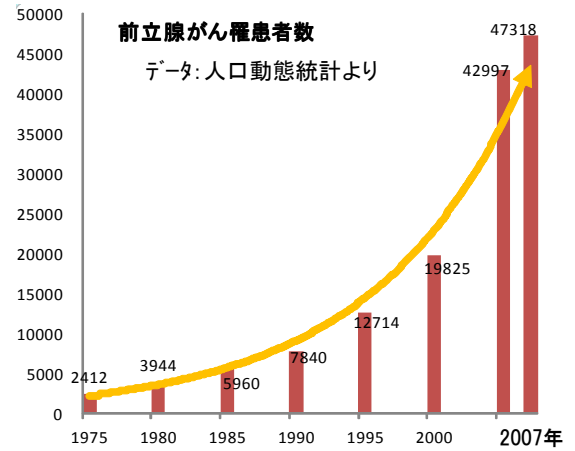


# 50歳を過ぎたら前立腺がん検診！

## 前立腺がんは増え続けています

まずは、右のグラフをご覧ください。  
**前立腺がんが急増**していることが一目でわかります。

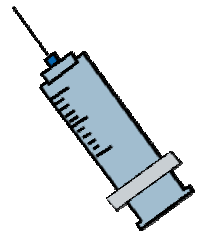
**2020年には年間78,000人**になると予測されており、前立腺がんは、近年、最も増加しているがんとして注意が必要とされています。



## PSA検査は、がんの場合はその81%を発見できます。

がんの可能性のある人を見つけるスクリーニング検査として、**PSA検査**があります。血液中の**PSA**（前立腺特異抗原）の濃度を調べることで前立腺の異常を見つける検査です。

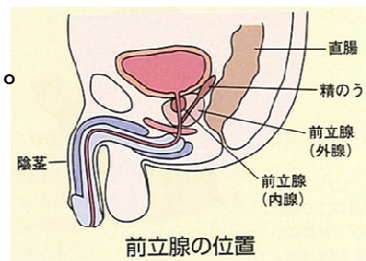
他の直腸診や経直腸的超音波検査と比べると、負担も少なく、がんの場合はその**81%を発見**する精度の高い検査です。



## 初期では自覚症状がなく、発見が遅れることがあります。

年齢を重ねるにつれて、尿の回数が増えた、勢いが弱くなった、残尿感などの**排尿障害**の自覚が出てくる方は多いでしょう。これらの多くは、前立腺肥大症でよくみられる症状です。

前立腺がんは、尿道から離れた**外腺**と呼ばれる部位に多発するため、**初期には自覚症状がほとんどない**ことが多いのです。そのため、**定期的な検診が重要**なのです。



### ■こんな方は検診を受けましょう■

50歳以上



40歳以上で、  
家族に前立腺がん  
の既往歴がある



脂っこいものや、  
欧米化した食事が  
多い



排尿障害がある



当健康保険組合でも、毎年秋に前立腺がん検診を郵送式で実施しています。年に一度は受診してください。